

【様式6】

別紙

運営委員会による評価結果報告（平成23年度下半期）

1. NPO活動ステップアップ支援事業について

○個別事業評価 「A:優れた成果が得られた」

- ・「集合型研修」「専門家派遣による個別支援」とともに目標を上回って実施された。
- ・「集合型研修」については、NPO法人の経営力を強化するために必要な幅広い内容の講座を実施した結果、NPO法人のニーズの所在が鮮明になった。法改正や認定NPO法人取得などの実務面の講座でより多くのニーズが存在している、一方でコンプライアンスやリスクマネジメント関係の講座に関してまだニーズが小さい。
- ・「専門家派遣による個別支援」については、希望者全てに支援を行い、成果目標も達成した。

2. NPOとの協働モデル事業について

○個別事業評価 「A:優れた成果が得られた」

- ・事業を実施した2団体からの自己評価はともに「B:一定の成果が得られた」であったが、9月の補正予算の事業で、事業開始が11月からと実施期間が限られたなか、計画どおり順調に事業実施しており、運営委員会としては「A:優れた成果が得られた」と評価する。
- ・事業の成果報告からは、NPOと行政が「協働して取組む」ということを意識して事業を実施したことがよくわかった。事業テーマの一つである「移住定住」については、全国的にも先進の取組みであり、本事業でNPOと行政が協働で取り組んだこと自体が成果ともいえる。
- ・「協働」で事業を進める上においては、行政もNPOに負けない「専門性」がないと、事業遂行することは困難であるという認識が行政側に生まれたことも成果であった。

3. NPO寄附募集支援事業について

○個別事業評価 「S:特に優れた成果が得られた」

- ・参加者数が成果目標を大きく超え、寄附つき商品の取組みの試行も成功させた。シンポジウムの内容についてもNPOからの評価が高く、量的にも質的にも「S:特に優れた成果が得られた」と評価する。

4. 運営委員会の開催、議事事項について

- ・計画どおりに運営委員会を開催し、果たすべき役目を果たした。

5. 事業全体について

○事業全体評価 「A:優れた成果が得られた」

- ・成果目標全体では、唯一、NPO活動ステップアップ支援事業（集合型研修）の「新会計基準の導入率」が目標達成することができなかったが、NPO寄附募集支援事業では、参加者数が当初の成果目標を大幅に超えて達成されたことから、平成23年度下半期事業全体を「A:優れた成果が得られた」と評価する。